

水と森と人が共に輝き、 活力あふれる自立したまち

第5次弟子屈町総合計画の基本構想がまとまりました



今年12月の議決を目指して進めている第5次弟子屈町総合計画策定への取り組み。これまで、町民アンケートや地区懇談会を行ったほか、中高生からも提言をいただきながら、まちづくり町民会議で議論を進めてきました。
現在、総合計画の「基本構想」がまとまった段階です。
基本構想に対するご意見をいただくため、各種団体アンケートのほか、2回目となる町民アンケートを行います。

▶各種委員の変更について
第5次弟子屈町総合計画の策定にあたっては、計画の諮問機関である「総合計画策定審議会」や、基本構想案などを協議する「まちづくり町民会議」が設置されています。4月以降、次のとおり委員の変更がありました。(敬称略)

●総合計画策定審議会		
弟子屈町文化協会会長	(旧)勝山源三	(新)木村光博
弟子屈町女性団体連絡協議会会長	(旧)江口佑子	(新)館 昭子
●まちづくり町民会議		
弟子屈町校長会会長	(旧)小松重敏	(新)奥田泰朗

第5次弟子屈町総合計画基本構想案

地域コンセプト

(まちの目指す姿)

「水と森と人が共に輝き、活力あふれる自立したまち」

まちづくりの基本目標

□環境

「人と自然が共生するまちづくりを進めます」

「豊かな自然を守るために」

▼環境の柱

- ①自然環境の保全と活用
- ②循環型社会の構築

□産業

「まちに活力・活気・雇用を生み出すまちづくりを進めます」

「元気なまちをつくるために」

▼産業の柱

- ①観光と農業を柱とした地域活性化の推進
- ②雇用・新産業の創出
- ③足腰の強い産業育成

□暮らし

「誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます」

「生き生きとした生活を送るために」

▼暮らしの柱

- ①保健医療体制の充実
- ②地域福祉の充実
- ③子育て支援
- ④生活基盤の向上
- ⑤安全・安心の確保

□教育

「豊かな心を育て、文化を大切にするまちづくりを進めます」

「健やかな生涯を送るために」

▼教育の柱

- ①学校教育の充実
- ②社会教育活動の推進
- ③文化・スポーツ活動の推進

※基本構想案については、文言の修正など一部変更になる場合があります。
※基本構想などへのご意見をいただくため、2回目の町民アンケートを行います。無作為に1千500人を抽出し、アンケート用紙を送付します。届いた方は、回答についてご協力をお願いします。

まちづくりの基本手段

(基本目標の達成のための下支え)

□人材

「まちづくりに興味と関心を持ち、行動する人を育てる仕組みをつくります」

▼人材の柱

- ①人材育成・人づくり、人材の確保
- ②まちづくりを支えるネットワークの形成・交流活動支援

□公共

「町民主役のまちづくりを進めます」

▼公共の柱

- ①ともに汗をかき進めるまちづくり
- ②時代に即し、透明性の高い行政運営

今後の作業

まちづくりの基本目標や基本手段を達成するための「実行計画」を定めます。

実行計画には、各事業(施策)に対する現状と課題や方針・目的のほか、その事業が将来どの程度達成されたか分かるよう、数値目標を設定します。

総合計画は10年間の計画ですが、実行計画は前期、後期を5年ごとに分けて、見直しができるようにします。

パブリックコメントの実施

実行計画案が出来上がった段階で、第5次弟子屈町総合計画の概要を公表し、皆さんから広くご意見をいただく「パブリックコメント」を、11月ころに実施します。

最終的に、総合計画策定審議会での議論、町議会の議決を経た上で、平成24年度から新しい総合計画が動き出します。

□総合計画に対するご意見・問い合わせ先／役場企画財政課企画係
☎482-2913(課直通)まで。